

幸福論

小説家
三浦 綾子

九つまで満ち足りていて、十のうち一つだけしか
不満がない時でさえ人間はまずその不満を真っ先
に口から出し、文句をいいつづけるものなのだ。自
分を^{かえり}顧みてつくづくそう思う。なぜわたしたちは不
満を後まわしにし、感謝すべきことを先言わないの
だろう

三浦さんの人生は難病の連続でした。次々と襲いかかる難病を三浦さんは素直に受け入れて常に明るくされていた。

有名な小説に「氷点」がある。